

放送ストリーミング情報収載

放送ストリーミング情報【2023No.279】(HP 収載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：クロード・ドビュッシー他

曲名：交響詩《海》他

演奏：ダニエル・ハーディング指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/54501>

2023年2月12日ベルリンフィル大ホールにおける演奏です。



以上の他に下記が演奏されました。

ジャン・シベリウス 交響詩《大洋の女神》

ジェルジ・リグティ 《ロンターノ》

ベンジャミン・ブリテン 《ピーター・グライムズ》 op. 33a より 4つの海の間奏曲

ジェルジ・リグティ 《アトモスフェール》

今回もPC経由で再生してみます。

今回も、Brooklyn DAC+に仮想アースのCrystal Eが、スピーカーケーブルの途中とDA-3000に自作の仮想アースが使用されています。さらに、PCのUSBポートにも自作の仮想アースが使用されています。また、仮想アースCrystal Epの導入(7)で報告したようにCrystal EpYをSonica DACのアース端子に接続してみました。

今回も、再生経路の仮想アースに加えて、電磁波吸収テープNRF-005Tの導入(17)で報告したLANケーブルへのNRF-005Tの適用を行っており、BPODCHの再生時には、ルーター/スイッチングハブ間およびスイッチングハブ/PC間のLANケーブルへの処理が関係しており、さらに電磁波吸収テープNRF-005Tの導入(18)で報告したPCからSonica DACまでのUSBケーブルやSDIF伝送のクロックケーブルとBNCデジタルケーブルもNRF-005Tの処理を行い、さらには直近のスピーカーケーブルや300Bアンプへの処理も関係しています。

ドビュッシーの交響詩《海》はお馴染みの曲で、ハーディングの端正な指揮の下、いかにも交響詩らしく、海の表情が次々と思ひ浮かびます。

シベリウスの交響詩《大洋の女神》は、ドビュッシーと同様、詩的な表情の曲です。

リグティの《ロンターノ》は、幻想的で不思議な世界に誘導されるような曲です。

ブリテンの《ピーター・グライムズ》は、おだやかな表情の曲です。

リグティの《アトモスフェール》は、不気味な持続音の続く神秘的な曲です。

このように、一連の仮想アースと NRF-005T の導入により、いろいろな表情の曲の多様な表現への対応ができるようになっていきます。

以上